

## 診療部

### 【腎臓内科】

#### 『学会』

学 開 場 演	会 催	名 : ERA-EDTA 51th congress 日 : 2014年5月31日－6月3日 所 : Amsterdam, Netherlands 題 : MANAGEMENT OF SERUM CHOLESTEROL AND CALCIUM IN PREDIALYSIS PHASE OF CHRONIC KIDNEY DISEASE IS IMPORTANT FOR PREVENTION OF AORTIC CALCIFICATION AFTER HEMODIALYSIS INITIATION
演		者 : TAKAYUKI FUJII, Satoshi Suzuki, Mizuki Shinozaki, Hiroaki Tanaka
学 開 場 演 演	会 催	名 : 印旛市郡医師会学術講演会 日 : 2014年6月4日 所 : ウィシュトンホテルユーカリ 題 : 当院透析センターにおける高血圧治療の現状 者 : 藤井隆之
学 開 場 演 演	会 催	名 : 第59回日本透析医学会総会 日 : 2014年6月12日－6月15日 所 : 神戸 題 : 血管石灰化の観点からみた透析導入期からのCKD-MBD管理についての検討 者 : 藤井隆之、篠崎みずき、田中宏明、鈴木理志
学 開 場 演 演	会 催	名 : 第41回千葉県腎セミナー 日 : 2014年6月20日 所 : 千葉 ホテルミラマーレ 題 : IgA腎症"1000例"から学んだこと 者 : 藤井隆之
学 開 場 演 演	会 催	名 : 第57回日本腎臓学会総会 日 : 2014年7月4日－7月6日 所 : パシフィコ横浜 題 : IgA腎症の腎予後は蛋白尿寛解だけでも良好である 者 : 藤井隆之、鈴木理志、篠崎みずき、田中宏明
学 開 場 演 演	会 催	名 : 第1回東千葉心腎治療フォーラム 日 : 2014年7月17日 所 : ANAクラウンプラザホテル成田 題 : 心臓から腎臓領域への展開 Round Table Discussion 者 : 鈴木理志
学 開 場 演 演	会 催	名 : 腎と透析座談会 2014年11月号腎と透析に掲載 日 : 2014年8月5日 所 : 東京パレスホテル 題 : 高齢化する透析患者の更なる予後の改善に向けて ～透析医療における高リン血症治療の新戦略～ 者 : 藤井隆之 他

2014年度 学術実績

学 開 場 演 演	会 催	名 : 第5回透析患者のADL向上を目指して 日 : 2014年9月21日 所 : オークラ千葉ホテル 題 : L-carnitine静注療法による貧血改善効果の検討 ～中等量以上のESA製剤を要する症例に対して～ 者 : 藤井隆之
学 開 場 演 演	会 催	名 : 日経メディカル座談会 2014年12月号掲載 日 : 2014年9月22日 所 : ヒルトン成田 題 : 心臓から腎臓領域への展開 者 : 鈴木理志
学 開 場 演 演	会 催	名 : 第4回臨床懇話会in佐倉 日 : 2014年10月15日 所 : ウィシュトンホテルユーカリ 題 : 当院10年間の急性腎障害202例の検討 者 : 田中宏明
学 開 場 演 演	会 催	名 : 第4回臨床懇話会in佐倉 日 : 2014年10月15日 所 : ウィシュトンホテルユーカリ 題 : 当院名物「CKD教育入院」の効き目について 者 : 鈴木理志
学 開 場 演 演	会 催	名 : 第44回日本腎臓学会東部学術大会 日 : 2014年10月24日－10月25日 所 : ベルサール新宿グランド 題 : 尿細管間質性腎炎を契機に発見されたIgA腎症の1例 者 : 篠崎みずき、田中宏明、藤井隆之、鈴木理志
学 開 場 演 演	会 催	名 : ASN KIDNEY WEEK 2014 日 : 2014年11月13日－11月15日 所 : Philadelphia, USA 題 : Does tonsillectomy plus corticosteroid pulse therapy improve renal outcome in patients with IgA nephropathy? 者 : J.Hoshino, T.Fujii, J.Usui, S.Suzuki, Y.Ubara, K.Yamagata
学 開 場 演 演	会 催	名 : 第123回千葉腎疾患懇話会 日 : 2014年11月20日 所 : ホテルポートプラザちば 題 : 尿細管間質性腎炎に活動性IgA腎症を合併した一例 者 : 篠崎みずき、田中宏明、藤井隆之、鈴木理志
学 開 場 演 演	会 催	名 : 第42回千葉県透析研究会 日 : 2014年12月14日 所 : かずさアカデミアパーク 題 : 保存期腎不全期のコレステロール、Ca管理は透析導入後の血管石灰化予防に重要である 者 : 藤井隆之、鈴木理志、篠崎みずき、田中宏明
学 開 場 演 演	会 催	名 : 第38回IgA腎症研究会 日 : 2015年1月24日 所 : JPタワー 題 : IgA腎症に対する扁桃腺摘出+PSL pulse療法が腎予後に与える影響の検討 大規模他施設コホート研究 者 : 星野純一、藤井隆之、臼井丈一、鈴木理志、乳原善文、山縣邦弘

学 会 名 : ちば血管炎セミナー2015  
開 催 日 : 2015年2月21日  
場 所 : 京葉銀行文化プラザ  
演 題 : 血管炎：腎臓内科領域から  
演 者 : 田中宏明

## 『講 演』

講 演 会 名 : 銚子市医師会学術講演会  
開 催 日 : 2014年10月17日  
場 所 : 銚子プラザホテル  
講 演 名 : CKDで食傷気味のみなさまに 腎臓内科のリアルワールド  
講 演 者 : 鈴木理志

## 【緩和医療科】

### 『学 会』

学 会 名 : 第19回日本緩和医療学会学術集会  
開 催 日 : 2014年6月19日－21日  
場 所 : 神戸国際会議場、神戸ポートピアホテル  
演 題 : 前立腺癌、骨転移によるがん性疼痛に対して、レスキュー投与としてオキシコドン製剤、フェンタニル製剤を併用した一例  
演 者 : 清水真弓、飯塚由佳、天野正康、大檐克也、戸来瑞希、成毛育恵、小出美由紀、鎌田佳子、村上敏史

### 『講 義』

講 義 名 : 平成26年度 第2回 独立行政法人国立がん研究センター中央病院 緩和ケア研修会  
開 催 日 : 2014年7月25日－26日  
場 所 : 国立がん研究センター中央病院  
演 題 : オピオイドを介するとき  
演 者 : 村上 敏史

講 義 名 : 平成26年度 第2回 独立行政法人国立がん研究センター中央病院 緩和ケア研修会  
開 催 日 : 2014年7月25日－26日  
場 所 : 国立がん研究センター中央病院  
演 題 : がん疼痛の事例検討  
演 者 : 村上 敏史

講 義 名 : 平成26年度 第3回 独立行政法人国立がん研究センター中央病院 緩和ケア研修会  
開 催 日 : 2014年9月6日－7日  
場 所 : 国立がん研究センター中央病院  
演 題 : がん疼痛の事例検討  
演 者 : 村上 敏史

2014年度 学術実績

講 開 場 演 演	義 催	名 : 平成26年度 第3回 独立行政法人国立がん研究センター中央病 院 緩和ケア研修会 日 : 2014年9月6日-7日 所 : 国立がん研究センター中央病院 題 : オピオイドを開始するとき 者 : 村上 敏史
講 開 場 演 演	義 催	名 : 千葉医療センター緩和ケア研修会 日 : 2014年9月7日、14日 所 : 国立病院機構千葉医療センター 題 : 消化器症状 者 : 村上 敏史
講 開 場 演 演	義 催	名 : 千葉大学医学部附属病院緩和ケア基礎研修会 日 : 2014年12月6日-7日 所 : 千葉大学医学部附属病院 題 : がん性疼痛 者 : 村上 敏史
講 開 場 演 演	義 催	名 : 平成26年度 千葉県緩和ケア研修会 日 : 2015年2月28日-3月1日 所 : 千葉県がんセンター 題 : がん性疼痛 者 : 村上 敏史

『講 演』

講 開 場 講 講	演 催 演	名 : 医薬情報担当者勉強会 日 : 2014年4月17日 所 : 久光製薬 千葉営業所 名 : 実臨床におけるオピオイドの使用方法 者 : 村上 敏史
講 開 場 講 講	演 催 演	名 : 平成26年度 第4回北部支部研修会 日 : 2014年8月28日 所 : ザ・クレストホテル柏 名 : 実臨床におけるオピオイドの使用方法 者 : 村上 敏史
講 開 場 講 講	演 催 演	名 : 印旛市郡医師会学術講演会 日 : 2014年11月20日 所 : 聖隷佐倉市民病院 6階ホール 名 : 緩和医療における医療連携について 者 : 村上 敏史
講 開 場 講 講	演 催 演	名 : 2014年度 第4回 市民公開講座 日 : 2014年12月13日 所 : 聖隷佐倉市民病院 6階ホール 名 : 緩和ケアと言われたら ~だれとどこで過ごすか~ 者 : 村上敏史
講 開 場 講 講	演 催 演	名 : 第5回 緩和ケア病棟講習会 日 : 2015年2月21日 所 : 聖隷佐倉市民病院 6階ホール 名 : 事例から学ぶ緩和ケアの実際 者 : 村上敏史

## 『論文』

雑誌名 : Anesthesia & Analgesia  
題名 : Tramadol and its metabolite m1 selectively suppress transient receptor potential ankyrin 1 activity, but not transient receptor potential vanilloid 1 activity.  
著者 : Miyano K, Minami K, Yokoyama T, Ohbuchi K, Yamaguchi T, Murakami S, Shiraishi S, Yamamoto M, Matoba M, Uezono Y.  
巻、ページ、年度 : 120(4):790-8, 2015

## 【消化器内科】

### 『講演』

講演会名 : サムスカ症例検討会  
開催日 : 2014年6月18日  
会場所 : 大塚製薬千葉支店  
講演名 : うっ血性心不全および肝性腹水に於けるサムスカ使用2症例について  
講演者 : 住吉良太

講演会名 : 第331回日本消化器病学会関東地方会例会  
開催日 : 2014年9月20日  
会場所 : 海運クラブ  
講演名 : 中心静脈カテーテル感染を契機に急性発症した肝炎型原発性胆汁性肝硬変の1例  
講演者 : 住吉良太、齊藤将喜、佐藤慎一、河上牧夫(病理診断科)

講演会名 : 第4回臨床懇話会in佐倉  
開催日 : 2014年10月15日  
会場所 : ウィンストンホテル・ユーカリ3Fフリージア  
講演名 : 保存的に治療を行った化膿性肝膿瘍の2例  
講演者 : 住吉良太

講演会名 : 四街道糖尿病眼合併症勉強会  
開催日 : 2015年3月18日  
会場所 : 四街道市保健センター3階会議室  
講演名 : NAFLD(非アルコール性脂肪性肝疾患)と糖尿病～NASHの拾い上げはどうすべきか～  
講演者 : 住吉良太

## 【循環器科】

### 『講演』

- 講演会名 : 第4回CHB : The Collaborative conference on Heart and Brain in INBA  
開催日 : 2014年8月27日  
開場所 : ウィシュトンホテル・ユーカリ  
講演者 : 新規抗凝固薬の適応使用について  
徳山 権一
- 講演会名 : 第7回印旛薬剤師フォーラム  
開催日 : 2015年2月18日  
開場所 : 聖隷佐倉市民病院 6Fホール  
講演者 : 血栓関連疾患の臨床的特徴と薬物治療  
徳山 権一

## 【小児科】

### 『学会』

- 学会名 : 第49回 日本小児腎臓病学会学術集会  
開催日 : 2014年6月  
開場所 : 秋田ビューホテル  
講演者 : 1歳6カ月健診における超音波でのCAKUTスクリーニング  
鈴木 繁
- 学会名 : 第32回小児成長研究会  
開催日 : 2014年7月  
開場所 : 霞が関コモンゲート  
講演者 : 成長ホルモン分泌不全性低身長を併発したBartter症候群の1例  
川村 研
- 学会名 : 第36回日本小児腎不全学会  
開催日 : 2014年10月  
開場所 : ホテル一畑  
講演者 : 間欠性水腎症を合併した紫斑病性腎炎の1例  
森 一越
- 学会名 : 八千代小児救急カンファレンス  
開催日 : 2014年10月  
開場所 : 東京女子医大八千代医療センター講堂  
講演者 : ネフローゼ症候群の再発治療中に急激な腹痛を来たした1例  
川村 研
- 学会名 : 第200回 日本小児科学会千葉地方会  
開催日 : 2015年2月  
開場所 : 千葉大学薬学部120周年記念講堂  
講演者 : ネフローゼ症候群罹患時に17血清型肺炎球菌による腹膜炎を発症した1例  
鈴木 繁

## 『講 義』

- |                       |        |   |
|-----------------------|--------|---|
| 講<br>開<br>場<br>演<br>演 | 義<br>催 | 名 : トリアージ勉強会<br>日 : 2014年10月<br>所 : 聖隷佐倉市民病院6Fホール<br>題 : トリアージの実際<br>者 : 鈴木 繁                       |
| 講<br>開<br>場<br>演<br>演 | 義<br>催 | 名 : 門前薬局・聖隷小児科意見交換会<br>日 : 2015年2月<br>所 : 聖隷佐倉市民病院6Fホール<br>題 : “こどもの薬” 私たちはこんな処方をしています”<br>者 : 鈴木 繁 |

## 『講 演』

- |                       |                  |   |
|-----------------------|------------------|---|
| 講<br>開<br>場<br>講<br>講 | 演<br>催<br>演<br>演 | 名 : 低身長講演会<br>日 : 2014年6月<br>所 : 志津公民館 会議室<br>名 : こどもの低身長について<br>者 : 川村 研                     |
| 講<br>開<br>場<br>講<br>講 | 演<br>催<br>演<br>演 | 名 : 成田赤十字病院 小児科カンファレンス<br>日 : 2014年11月<br>所 : 成田赤十字病院<br>名 : 一般小児科医のための腎疾患の見方・考え方<br>者 : 森 一越 |
| 講<br>開<br>場<br>講<br>講 | 演<br>催<br>演<br>演 | 名 : 印旛市郡学校検尿結果報告会<br>日 : 2014年11月<br>所 : 四街道市役所 講堂<br>名 : こどもの検尿異常について<br>者 : 川村 研            |
| 講<br>開<br>場<br>講<br>講 | 演<br>催<br>演<br>演 | 名 : JCR成長研究会<br>日 : 2015年2月<br>所 : JCR本社 会議室<br>名 : 小児の成長障害と腎疾患<br>者 : 川村 研                   |

## 『論 文』

- |                         |   |  |
|-------------------------|---|--|
| 雑<br>題                  | 誌 | 名 : Japanese Journal of Pediatrics<br>名 : ネフローゼ症候群罹患時に17血清型肺炎球菌による腹膜炎を発症した女児例        |
| 著<br>卷、ページ、年度           | 者 | 者 : 鈴木 繁<br>: 68 : 251-254, 2015   |
| 雑<br>題<br>著<br>卷、ページ、年度 | 誌 | 名 : 日本小児腎不全学会誌<br>名 : 診断および治療に苦慮している尿路感染症の1例<br>者 : 森 一越<br>: 2014 vol. 34 : 191-192 |

## 『その他』

その日の場題氏  
の  
他 : 分担著書  
付 : 2014年10月  
所 : Japanese Society of Nephrology  
名 : Evidence-based Clinical Practice Guideline for CKD 2013  
名 : 森 一越

その日の場題氏  
の  
他 : 分担著書  
付 : 2014年12月  
所 : 小児科診療 特大号 保護者への説明マニュアル  
名 : ネフローゼ症候群  
名 : 川村 研

## 【呼吸器外科】

### 『学 会』

学開場演  
会催  
名 : 第55回日本肺癌学会  
日 : 2014年11月14日－11月16日  
所 : 国立京都国際会館  
題 : 肺癌術後の間質性肺炎急性増悪に対するピルフェニドンの有用性  
者 : 眞崎 義隆

学開場演  
会催  
名 : 佐倉地区肺癌勉強会  
日 : 2014年11月20日  
所 : 佐倉市健康管理センター  
題 : 様々な疾患における胸部レントゲンと胸部CTの比較読影  
者 : 眞崎 義隆

### 『講 演』

講開場講  
演催  
名 : 第3回佐倉市病診連携呼吸器疾患懇話会  
日 : 2014年6月12日  
所 : ウィンストンホテルユーカリ  
名 : COPDに多彩肺疾患合併症例  
者 : 眞崎 義隆

## 『その他』

その日の場題氏  
の  
他 : 感染 合同カンファレンス (北総日医、北総栄)  
付 : 2014年7月23日  
所 : 聖隷佐倉市民病院  
名 : 院内アウトブレイク、結核、インフルエンザ  
名 : 眞崎 義隆

## 【外 科】

## 『学 会』

学 開 場 演 演	会 催	名 : 第100回日本消化器病学会総会 日 : 2014年4月24日 所 : 東京国際フォーラム 題 : 腹部腫瘍の診断におけるDWIBSの有用性 者 : 富澤稔、篠崎文信、小池直人、大島祐二、長谷川留魅子、外川明、白井芳則、一木昇、砂押孝典、小崎愛花、馬場啓、深水良哉、加賀山智史、本吉慶史、杉山隆夫、山本重則、末石眞
学 開 場 演 演	会 催	名 : 第26回日本肝胆膵学会・学術集会 日 : 2014年6月12日 所 : 和歌山県民文化会館 題 : 超高齢者肝胆膵悪性腫瘍に対する高難度手術例の検討 者 : 小池直人、大島祐二、大河内信弘
学 開 場 演 演	会 催	名 : 第71回千葉県外科医会 日 : 2014年7月5日 所 : 千葉県医師会第1会議室（ホテルニューツカモト、千葉みなと） 題 : 当院における腹腔鏡下大腸切除術における合併症低減のための手技 者 : 大島祐二、小池直人、澤田尚人、武内俊章、久保田亨、有田誠司
学 開 場 演 演	会 催	名 : 第69回日本消化器外科学会総会 日 : 2014年7月16日 所 : 郡山市民文化センター 題 : 大腸癌肝転移に対する切除及び術後化学療法の評価 者 : 小池直人、大島祐二、武内俊章、久保田亨、有田誠司、篠崎英司、大河内信弘
学 開 場 演 演	会 催	名 : 第14回肝胆膵外科フォーラム 日 : 2014年9月20日 所 : ホテル ザ・マンハッタン（幕張） 題 : 超高齢者胆道癌に対する拡大肝葉切除の経験（ビデオセッション） 者 : 小池直人、大島祐二、武内俊章、澤田尚人、久保田亨、有田誠司、河上牧夫
学 開 場 演 演	会 催	名 : 第72回千葉県外科医会 日 : 2014年11月1日 所 : 千葉県医師会新会館 題 : 幽門側胃切除B-I 再建後に認められた十二指腸球部絨毛腺癌の1例 者 : 澤田尚人、小池直人、大島祐二、武内俊章、有田誠司
学 開 場 演 演	会 催	名 : 第11回がんワクチン療法研究会学術集会 日 : 2014年11月22日 所 : 東京女子医科大学先端生命医科学研究所 TWIns 題 : 肝細胞癌の術後補助療法としての自家がんワクチンの経験 者 : 小池直人、河上牧夫、岩淵康雄

## 2014年度 学術実績

学 開 場 演 演	会 催	名 : 第76回日本臨床外科学会総会 日 : 2014年11月21日 所 : 郡山市民文化センター 題 : 術前診断が可能であった蛋白漏出性胃癌の症例 者 : 大島祐二、小池直人、澤田尚人、武内俊章、久保田亨、有田誠司
学 開 場 演 演	会 催	名 : 第76回日本臨床外科学会総会 日 : 平成26年11月20日21日22日 所 : 福島県郡山市 題 : 直腸癌に対する化学放射線療法後の合併症の一例 者 : 武内俊章、小池直人、有田誠司、大島祐二、澤田尚人、大河内信弘
学 開 場 演 演	会 催	名 : 第1296回千葉医学会先端応用外科例会 日 : 2014年12月14日 所 : 千葉大薬学部120周年記念講堂 題 : 当院における消化管穿孔症例に対する治療選択と成績 者 : 有田誠司
学 開 場 演 演	会 催	名 : 第20回千葉内視鏡外科研究会 日 : 2015年2月21日 所 : 三井ガーデンホテル千葉 題 : 腫瘍マーカー高値を呈した肝嚢胞に対して腹腔鏡下開窓術を行った症例 者 : 大島祐二、小池直人、武内俊章、澤田尚人、久保田亨、有田誠司
学 開 場 演 演	会 催	名 : 第73回千葉県外科医会 日 : 2015年3月7日 所 : 千葉県医師会新会館 題 : Paclitaxelにより長期生存が得られた再発胃癌の2例 者 : 吉川りょう、小池直人、大島祐二、武内俊章、澤田尚人、久保田亨、有田誠司

## 『講 義』

講 開 場 演 演	義 催	名 : 高知大学医学部5年生外科学講義 日 : 2014年12月16日 所 : 高知大学医学部第1講堂 題 : 移植および再生医療のup-to-date 者 : 有田誠司
講 開 場 演 演	義 催	名 : 大塚製薬工場社内研修会 日 : 2015年1月21日 所 : 株式会社大塚製薬工場千葉支店会議室（千葉ポートサイドタワー） 題 : 胃癌診断治療における組織型分類の意義 者 : 小池直人

## 『講演』

- 講演会名 : 佐倉市における救急と防災の現状について  
開催日 : 2014年10月18日  
会場所 : 東邦大学医療センター佐倉病院大会議室  
講演者 : 地域救急と防災に関する聖隷佐倉市民病院の取り組み  
講演者 : 有田誠司
- 講演会名 : 佐倉・四街道地区消化器病検討会  
開催日 : 2015年2月13日  
会場所 : 佐倉市健康管理センター  
講演者 : 超高齢者に対する外科医療 特に消化器領域での最近の話題  
講演者 : 小池直人

## 『論文』

- 雑誌名 : がんワクチン療法研究会ニューズレター  
題名 : 自家がんワクチンへの期待  
著者 : 小池直人  
巻、ページ、年度 : 第5号 p4 2014
- 雑誌名 : Transplant Proc  
題名 : High-resolution intravital imaging for monitoring the transplanted islets in mice.  
著者 : Takahashi Y, Takebe T, Enomura M, Koike N, Lee S, Nemenon JG, Sekine K, Lee JI, Taniguchi H.  
巻、ページ、年度 : 46(4):1166-1168, 2014.

## 『その他』

- その他 : 2014年度第1回公開市民講座  
日付 : 2014年5月24日  
会場所 : 聖隷佐倉市民病院6階ホール  
題名 : そうだ人間ドックへ行こう-あなたとあなたの大切な人のために-  
氏名 : 有田誠司
- その他 : 第71回千葉県外科医会 (座長)  
日付 : 2014年7月5日  
会場所 : 千葉県医師会第1会議室 (ホテルニューツカモト、千葉みなと)  
題名 : Session II  
氏名 : 小池直人
- その他 : 千葉がんチーム医療ワークショップ (座長)  
日付 : 2014年9月6日  
会場所 : 中外製薬株式会社 千葉オフィス  
題名 : 転移性大腸癌の治療戦略 (東京女子医科大学附属や千代医療センター外科診療部講師 倉持英和先生)  
氏名 : 小池直人
- その他 : 聖隷佐倉市民病院化学療法セミナー  
日付 : 2014年10月1日  
会場所 : 聖隷佐倉市民病院6階ホール  
題名 : 膵癌、胆道癌  
氏名 : 小池直人

その  
日  
場  
題  
氏  
の  
他 : 佐倉・四街道地区消化器病検討会  
付 : 2014年11月14日  
所 : ウィッシュトンホテル・ユーカーリ  
名 : 潰瘍性大腸炎の新しい診断と治療法 (東邦大学医療センター佐倉  
病院 消化器内科講師 竹内健先生)  
名 : 小池直人

その  
日  
場  
題  
氏  
の  
他 : 聖隷佐倉市民病院化学療法セミナー  
付 : 2015年3月23日  
所 : 聖隷佐倉市民病院医局会議室  
名 : 胃癌の化学療法について  
名 : 大島祐二

## 【泌尿器科】

### 『学 会』

学  
開  
場  
演  
演  
会  
催  
名 : 第102回日本泌尿器科学会総会  
日 : 2014年4月14日  
所 : 神戸国際会議場  
題 : 前立腺癌に対する放射線治療  
者 : 大西哲郎・他

学  
開  
場  
演  
演  
会  
催  
名 : 第102回日本泌尿器科学会総会 (poster)  
日 : 2014年4月14日  
所 : 神戸国際会議場  
題 : 早期合併症の臨床的特徴および膀胱や精囊腺浸潤例に対する治療  
効果  
者 : 大西哲郎・他

学  
開  
場  
演  
演  
会  
催  
名 : 第102回千葉泌尿器科集談会  
日 : 2014年11月29日  
所 : 京葉銀行文化プラザ  
題 : 遠隔転移を伴わない前立腺癌術後再燃例や去勢抵抗性例に対する  
放射線外照射の効果  
者 : 大西哲郎・他

### 『講 演』

講  
開  
場  
講  
演  
会  
催  
名 : 表在型膀胱癌の現状と治療方針について  
日 : 2015年1月30日  
所 : 大鵬千葉支店会議室  
者 : 大西哲郎

## 【乳腺外科】

### 『学 会』

- |                       |        |  |
|-----------------------|--------|--|
| 学<br>開<br>場<br>演<br>演 | 会<br>催 | 名 : 第22回日本乳癌学会総会<br>日 : 2014年7月10日－12日<br>所 : 大阪<br>題 : 当院におけるbevacizumab療法の忍容性に関する検討<br>者 : 川島 太一, 黒野 健司, 川上 浩幸, 河上 牧夫, 成毛 育恵                   |
| 学<br>開<br>場<br>演<br>演 | 会<br>催 | 名 : 第22回日本乳癌学会総会<br>日 : 2014年7月10日－12日<br>所 : 大阪<br>題 : 過量オキシコドンにて治療抵抗性であった術後神経因性疼痛のコントロールに成功した転移性乳癌の1例<br>者 : 黒野 健司, 川島 太一, 川上 浩幸, 河上 牧夫, 成毛 育恵 |
| 学<br>開<br>場<br>演<br>演 | 会<br>催 | 名 : 第52回日本癌治療学会総会<br>日 : 2014年8月28日－30日<br>所 : 横浜<br>題 : 皮膚及び肺転移により治療に難渋した乳腺扁平上皮癌の1例<br>者 : 黒野 健司, 川島 太一, 川上 浩幸, 河上 牧夫                           |
| 学<br>開<br>場<br>演<br>演 | 会<br>催 | 名 : 第52回日本癌治療学会総会<br>日 : 2014年8月28日－30日<br>所 : 横浜<br>題 : 維持透析患者に発生した乳癌6症例の検討<br>者 : 川島 太一, 黒野 健司, 藤井 隆之, 川上 浩幸, 河上 牧夫                            |
| 学<br>開<br>場<br>演<br>演 | 会<br>催 | 名 : 第51回千葉乳腺疾患研究会<br>日 : 2015年1月10日<br>所 : 千葉<br>題 : 高度局所進行乳癌に対して集学的治療が奏功した1例<br>者 : 黒野 健司, 川島 太一  |

### 『講 演』

- |                       |                  |        |  |
|-----------------------|------------------|--------|--|
| 講<br>開<br>場<br>講<br>講 | 演<br>催<br>演<br>演 | 会<br>催 | 名 : 印西市乳がん市民セミナー<br>日 : 2014年10月4日<br>所 : イオンシネマ千葉ニュータウン<br>名 : どんな人が乳がんになりやすいの?<br>者 : 川島太一 |
| 講<br>開<br>場<br>講<br>講 | 演<br>催<br>演<br>演 | 会<br>催 | 名 : 聖隷佐倉市民病院市民公開講座<br>日 : 2014年10月25日<br>所 : 聖隷佐倉市民病院<br>名 : 乳がんと遺伝についての正しい知識<br>者 : 川島太一    |

## 『その他』

その  
日  
場  
題  
氏  
の  
他  
付  
所  
名  
名  
： 乳がん予防教室  
： 2015年1月27日  
： 聖隷佐倉市民病院  
： 乳がんを予防するにはどうすればいいの？  
： 川島太一

## 【整形外科】

### 『学会』

学  
開  
場  
演  
演  
催  
名  
日  
所  
題  
者  
： 第43回日本脊椎脊髄病学会  
： 2014年4月17日－19日  
： 京都  
： 側弯症術後28年以上経過した患者に対する金属探知機の反応  
： 小谷俊明、赤澤努、佐久間毅、根本哲治、縄田健斗、山崎厚郎、高橋和久、南昌平

学  
開  
場  
演  
演  
催  
名  
日  
所  
題  
者  
： 第43回日本脊椎脊髄病学会  
： 2014年4月17日－19日  
： 京都  
： 10歳以下で早期固定手術を行った先天性側弯症患者における10年以上の長期臨床成績  
： 小谷俊明、赤澤努、佐久間毅、根本哲治、縄田健斗、山崎厚郎、高橋和久、南昌平

学  
開  
場  
演  
演  
催  
名  
日  
所  
題  
者  
： 第43回日本脊椎脊髄病学会  
： 2014年4月17日－19日  
： 京都  
： 特発性側弯症におけるレントゲンパラメーターとウエストの関連性  
： 小谷俊明、赤澤努、佐久間毅、根本哲治、縄田健斗、山崎厚郎、高橋和久、南昌平

学  
開  
場  
演  
演  
催  
名  
日  
所  
題  
者  
： 第43回日本脊椎脊髄病学会  
： 2014年4月17日－19日  
： 京都  
： 思春期特発性側弯症のゲノムワイド相関解析：側弯の発症に関与する遺伝子の解析  
： 小倉洋二、河野克己、川上紀明、宇野耕吉、伊藤学、渡辺航太、戸山芳昭、松本守雄、辻太一、鈴木哲平、須藤英毅、高橋洋平、南昌平、小谷俊明、柳田晴久、米澤郁穂、細金直文、種市洋、千葉一裕、岡田英次郎、池川志郎

2014年度 学術実績

学 開 場 演	会 催	名 : 第43回日本脊椎脊髄病学会 日 : 2014年4月17日－19日 所 : 京都 題 : 思春期特発性側弯症の重症化に関連する領域を染色体17p24.3に 同定
演		者 : 三宅敦、高橋洋平、小倉洋二、黄郁代、河野克己、川上紀明、宇 野耕吉、伊藤学、南昌平、柳田晴久、種市裕、辻太一、鈴木哲 平、須藤英毅、小谷俊明、米沢郁穂、渡邊航太、千葉一裕、戸山 芳昭、松本守雄、池川志郎
学 開 場 演	会 催	名 : 第43回日本脊椎脊髄病学会学術集会 日 : 2014年4月17日－19日 所 : 京都 題 : 棘突起間スパーサーによる硬膜管拡大のMRI評価：伸展位を制限 することで全脊椎矢状面アライメントは変化するか？
演		者 : 赤澤努、小谷俊明、佐久間毅、根本哲治、縄田健斗、山崎厚郎、 南昌平
学 開 場 演	会 催	名 : 第43回日本脊椎脊髄病学会 日 : 2014年04月17日－19日 所 : 京都市 国立京都国際会館 題 : Cortical Bone Trajectory スクリューにおける loosening の発生 率とその危険因子の評価－従来の椎弓根スクリューと比較して
演		者 : 佐久間毅、小谷俊明、赤澤努、根本哲治、縄田健斗、山崎厚郎、 南昌平
学 開 場 演	会 催	名 : 第43回日本脊椎脊髄病学会 日 : 2014年04月17日－19日 所 : 京都市 国立京都国際会館 題 : Simultaneous Double Rod Rotation Technique による矢状面ア ライメントの変化の検討－Rod Rotation で後弯の頂椎の位置は変 化するか？－
演		者 : 佐久間毅、小谷俊明、赤澤努、南昌平
学 開 場 演	会 催	名 : 第43回日本脊椎脊髄病学会 日 : 2014年04月17日－19日 所 : 京都市 国立京都国際会館 題 : 全脊椎側面X線における頸椎矢状面アライメントの妥当性の評価 －SRS推奨肢位と自然立位の比較－
演		者 : 佐久間毅、小谷俊明、赤澤努、根本哲治、縄田健斗、山崎厚郎、 南昌平
学 開 場 演	会 催	名 : 第43回日本脊椎脊髄病学会 日 : 2014年4月17日 所 : 京都 題 : 思春期特発性側弯症のゲノムワイド相関解析：側弯の進行に関与 する遺伝子の解析
演		者 : 小倉洋二、河野克己、川上紀明、宇野耕吉、伊東学、渡邊航太、 戸山芳昭、松本守雄、辻太一、鈴木哲平、須藤英毅、高橋洋平、 南昌平、小谷俊明、柳田晴久、米澤郁穂、細金直文、種市洋、千 葉一裕、岡田英次郎、池川志郎

2014年度 学術実績

学 開 場 演 演	会 催	名 : 第43回日本脊椎脊髄病学会 日 : 2014年4月18日 所 : 京都 題 : 思春期特発性側弯症の重症化に関連する領域を染色体17q24.3に 同定 者 : 三宅敦、高橋洋平、小倉洋二、黄郁代、河野克己、川上紀明、 宇野耕吉、伊東学、南昌平、柳田晴久、種市洋、辻太一鈴木哲 平、須藤英毅、小谷俊明、渡邊航太、千葉一裕、戸山芳昭、松本 守雄、池川志郎
学 開 場 演 演	会 催	名 : 第43回日本脊椎脊髄病学会 日 : 2014年4月18日 所 : 京都 題 : 早期発症側弯症に対するgrowing rod法の適切な開始時期—多施 設研究 者 : 渡邊航太、松本守雄、宇野耕吉、川上紀明、辻太一、柳田晴久、 平野徹、山崎健、南昌平、伊東学、種市洋、今釜史郎、竹下克 志、山元拓哉
学 開 場 演 演	会 催	名 : XLIF user meeting 日 : 2014年4月18日 所 : 京都市 グランドプリンスホテル京都 題 : XLIF Corpectomyで術中分節動脈損傷を生じた1例 者 : 佐久間毅
学 開 場 演 演	会 催	名 : 第87回日本整形外科学会 日 : 2014年5月22日—25日 所 : 神戸 題 : Correlation between radiographic parameters and cosmetic assessment of waist asymmetry in adolescent idiopathic scoliosis patients 者 : Toshiaki Kotani, Tsutomu Akazawa, Tsuyoshi Sakuma, Tetsuharu Nemoto, Kento Nawata, Atsuro
学 開 場 演 演	会 催	名 : 第87回日本整形外科学術総会 日 : 2014年5月22日—25日 所 : 京都 題 : Factors causing failure in navigation—assisted pedicle screw placement in scoliosis: why is screw deviation rate not 0% with 0—arm—based navigation? 者 : Tsutomu Akazawa, Toshiaki Kotani, Tsuyoshi Sakuma, Tetsuharu Nemoto, Shohei Minami.
学 開 場 演 演	会 催	名 : 第87回日本整形外科学術総会 日 : 2014年5月22日—25日 所 : 神戸 題 : Lenke type 1Aカーブにおけるdistal adding—onの関連因子 者 : 松本守雄、渡邊航太、細金直文、川上紀明、辻太一、宇野耕吉、 鈴木哲平、伊藤学、柳田晴久、南昌平、赤澤努

2014年度 学術実績

- |                       |        |   |
|-----------------------|--------|---|
| 学<br>開<br>場<br>演<br>演 | 会<br>催 | 名 : 第87回日本整形外科学会学術総会<br>日 : 2014年5月22日<br>所 : 神戸<br>題 : 早期発症側弯症に対するgrowing rod法治療中のproximal junctional kyphosis発生危険因子—多施設研究<br>者 : 渡邊航太、松本守雄、宇野耕吉、川上紀明、辻太一、柳田晴久、平野徹、山崎健、南昌平、伊東学、種市洋、今釜史郎、竹下克志、山元拓哉  |
| 学<br>開<br>場<br>演<br>演 | 会<br>催 | 名 : 第87回日本整形外科学会学術総会<br>日 : 2014年5月24日<br>所 : 神戸<br>題 : Lenke type 1Aカーブにおけるdistal adding-onの関連因子<br>者 : 松本守雄、渡邊航太、細金直文、川上紀明、辻太一、宇野耕吉、鈴木哲平、伊東学、柳田晴久、南昌平、赤澤努   |
| 学<br>開<br>場<br>演<br>演 | 会<br>催 | 名 : 第87回日本整形外科学会学術総会<br>日 : 2014年5月24日<br>所 : 神戸<br>題 : 早期発症側弯症に対するgrowing rod法の矯正不良因子—多施設研究<br>者 : 渡邊航太、松本守雄、宇野耕吉、川上紀明、辻太一、柳田晴久、平野徹、山崎健、南昌平、伊東学、種市洋、今釜史郎、竹下克志、山元拓哉   |
| 学<br>開<br>場<br>演<br>演 | 会<br>催 | 名 : 41st Annual Meeting of the International Society for the Study of the Lumbar Spine<br>日 : 2014年6月3日—7日<br>所 : Seoul, Korea<br>題 : Detection of spinal implant materials in scoliosis patients with long-term follow up: a questionnaire study<br>者 : Toshiaki Kotani, Tsutomu Akazawa, Tsuyoshi Sakuma, Tetsuharu Nemoto, Kento Nawata, Atsuro Yamazaki, Shohei Minami  |
| 学<br>開<br>場<br>演<br>演 | 会<br>催 | 名 : 41st Annual Meeting of the International Society for the Study of the Lumbar Spine<br>日 : 2014年6月3日—7日<br>所 : Seoul, Korea<br>題 : The ideal trajectory for balloon kyphoplasty using ray-sum 3D imaging<br>者 : Atsuro Yamazaki, Toshiaki Kotani, Tsutomu Akazawa, Tsuyoshi Sakuma, Tetsuharu Nemoto, Kento Nawata, Kazuhisa Takahashi, Shohei Minami  |
| 学<br>開<br>場<br>演<br>演 | 会<br>催 | 名 : International Society for the Study of the Lumbar Spine 41th Annual Meeting<br>日 : 2014年6月3日—7日<br>所 : Seoul, Korea<br>題 : MRI evaluation of dural sac enlargement by interspinous spacers (X-STOP): Does limiting the spinal extension change the global sagittal alignment?<br>者 : Tsutomu Akazawa, Toshiaki Kotani, Tsuyoshi Sakuma, Tetsuharu Nemoto, Kento Nawata, Atsuro Yamazaki, Shohei Minami, Seiji Ohtori, Kazuhisa Takahashi. |

2014年度 学術実績

学 開 場 演 演	会 催	名 : International Society for the Study of the Lumbar Spine 41th Annual Meeting 日 : 2014年6月3日－7日 所 : Seoul, Korea 題 : The ideal trajectory for balloon kyphoplasty using ray-sum 3D imaging. 者 : Atsuro Yamazaki, Toshiaki Kotani, Tsutomu Akazawa, Tsuyoshi Sakuma, Tetsuharu Nemoto, Kento Nawata, Kazuhisa Takahashi, Shohei Minami.
学 開 場 演 演	会 催	名 : 第51回日本リハビリテーション医学会学術集会 日 : 2014年6月5日－7日 所 : 名古屋 題 : 脊椎圧迫骨折に対するBalloon kyphoplasty後のQOL解析 者 : 小谷俊明、赤澤努、根本哲治、南昌平
学 開 場 演 演	会 催	名 : 第23回ちば脊椎カンファレンス 日 : 2014年7月12日 所 : 千葉市 アパホテル&リゾート 東京ベイ幕張 題 : 成人脊柱変形に対し低侵襲前方アプローチ(XLIF)を併用した前後合併矯正固定術の短期成績 者 : 佐久間毅、小谷俊明、赤澤努、根本哲治、飯島靖、嶋田洋平、南昌平
学 開 場 演 演	会 催	名 : The 21st International Meeting on Advanced Spine 日 : 2014年7月16日－19日 所 : Valencia, Spain 題 : Factors causing failure in navigation-assisted pedicle screw placement in scoliosis: why is screw deviation rate not 0% even with 0-arm-based navigation? 者 : Tsutomu Akazawa, Toshiaki Kotani, Tsuyoshi Sakuma, Shohei Minami.
学 開 場 演 演	会 催	名 : 第10回ChibaSpineYouthMeeting 日 : 2014年7月26日 所 : 千葉市 京葉銀行プラザ 題 : 早期に再手術を必要とした先天性側弯症の1例 者 : 佐久間毅、小谷俊明、赤澤努、南昌平
学 開 場 演 演	会 催	名 : 第23回日本脊椎インストゥルメンテーション学会 日 : 2014年08月29日－30日 所 : 浜松市 アクトシティ浜松 題 : Cortical Bone Trajectoryスクリューにおけるlooseningの発生率とその危険因子の評価ー従来の椎弓根スクリューと比較してー 者 : 佐久間毅、小谷俊明、赤澤努、根本哲治、飯島靖、南昌平
学 開 場 演 演	会 催	名 : 第23回日本脊椎インストゥルメンテーション学会 日 : 2014年08月29日－30日 所 : 浜松市 アクトシティ浜松 題 : 多椎間固定術における骨盤アンカーとしてのSacral alar iliac screwの有効性の検討ーIliac screwと比較してー 者 : 佐久間毅、小谷俊明、赤澤努、根本哲治、飯島靖、南昌平

2014年度 学術実績

学 開 場 演	会 催	名 : 第23回日本脊椎インストゥルメンテーション学会 日 : 2014年08月29日－30日 所 : 浜松市 アクトシティ浜松 題 : 成人脊柱変形に対し低侵襲前方アプローチ(XLIF)を併用した前後 合併矯正固定術の短期成績
演		者 : 佐久間毅、小谷俊明、赤澤努、根本哲治、飯島靖、南昌平
学 開 場 演	会 催	名 : 49th Annual Meeting & Course 日 : 2014年9月10日－13日 所 : Anchorage, USA 題 : Long-Term Quality of Life after Early Fusion Surgery in Congenital Scoliosis Patients 10 Years of Age or Younger Assessed after a Minimum of 10 Years: A Multicenter Study
演		者 : Toshiaki Kotani; Shohei Minami; Tsutomu Akazawa, MD; Tsuyoshi Sakuma, MD, PhD; Noriaki Kawakami, MD, DMSc; Taichi Tsuji, MD; Koki Uno, MD, PhD; Teppei Suzuki
学 開 場 演	会 催	名 : 49th Annual Meeting & Course 日 : 2014年9月10日－13日 所 : Anchorage, USA 題 : Comparison of Early Spinal Fusion with Late Spinal Fusion in Pediatric Patients with Congenital Spinal Deformity: Long-Term Follow-Up Study
演		者 : Noriaki Kawakami, MD, DMSc; Taichi Tsuji, MD; Toshiki Saito; Toshiaki Kotani; Shohei Minami; Koki Uno, MD, PhD; Teppei Suzuki; Toru Hirano; Haruhisa Yanagida, MD; Toru Yamaguchi, MD; Manabu Ito, MD, PhD
学 開 場 演	会 催	名 : 49th Annual Meeting & Course 日 : 2014年9月10日－13日 所 : Anchorage, USA 題 : A Genome-Wide Association Study Identified a Novel Susceptibility Locus for Severe Adolescent Idiopathic Scoliosis
演		者 : Atsushi Miyake; Morio Matsumoto, MD; Yohei Takahashi; Yoji Ogura, MD; Katsuki Kono; Noriaki Kawakami, MD, DMSc; Koki Uno, MD, PhD; Manabu Ito, MD, PhD; Shohei Minami; Haruhisa Yanagida, MD; Hiroshi Taneichi, MD; Kota Watanabe; Taichi Tsuji, MD; Teppei Suzuki; Hideki Sudo; Toshiaki Kotani; Ikuho Yonezawa, MD, PhD; Kazuhiro Chiba, MD, PhD; Yoshiaki Toyama; Shiro Ikegawa, MD, PhD
学 開 場 演	会 催	名 : 第63回東日本整形災害外科学会 日 : 2014年9月19日－20日 所 : 東京 題 : BKP・テリパラチド地域連携パスの治療成績
演		者 : 小谷俊明、赤澤努、佐久間毅、根本哲治、飯島靖、宮崎木の実、 白井智裕、秋山宏美、南昌平
学 開 場 演	会 催	名 : 第29回日本整形外科学会基礎学術集会 日 : 2014年10月9日 所 : 鹿児島 題 : 思春期特発性側弯症の重症化に関連する領域を染色体17q24.3に 同定
演		者 : 三宅敦、高橋洋平、小倉洋二、黄郁代、河野克己、川上紀明、 宇野耕吉、伊東学、南昌平、柳田晴久、辻太一、鈴木哲平、 須藤英毅、小谷俊明、渡邊航太、戸山芳昭

2014年度 学術実績

学 開 場 演 演	会 催	名 : 第29回日本整形外科学会基礎学術集会 日 : 2014年10月9日 所 : 鹿児島 題 : 思春期特発性側弯症の大規模ゲノムワイド相関解析：新規の座位の同定 者 : 小倉洋二、松本守雄、黄郁代、高橋洋平、河野克己、川上紀明、宇野耕吉、伊東学、南昌平、米澤郁穂、辻太一、鈴木哲平、須藤英毅、渡邊航太、戸山芳昭、池川志郎
学 開 場 演 演	会 催	名 : 第16回骨粗鬆症学会 日 : 2014年10月23日－25日 所 : 東京 題 : Balloon kyphoplastyとテリパラチド週1回製剤を用いた地域連携パスの治療成績 者 : 小谷俊明、赤澤努、佐久間毅、根本哲治、飯島靖、白井智裕、加藤木丈英、秋山宏美、清水菜穂、南昌平
学 開 場 演 演	会 催	名 : 第48回日本側弯症学会（シンポジウム1） 日 : 2014年10月30日 所 : 盛岡 題 : 乳幼児側弯症に対するGrowing Rod法の治療成績—最終固定例での検討 者 : 渡邊航太、松本守雄、宇野耕吉、川上紀明、辻太一、柳田晴久、平野徹、山崎健、南昌平、伊東学、種市洋、今釜史郎、竹下克志、山元拓哉
学 開 場 演 演	会 催	名 : 第48回日本側弯症学会（シンポジウム2） 日 : 2014年10月30日 所 : 盛岡 題 : 思春期特発性側弯症の原因遺伝子—遺伝子診断の現況 者 : 高橋洋平、小倉洋二、松本守雄、黄郁代、高橋弘、河野克己、川上紀明、辻太一、宇野耕吉、鈴木哲平、伊東学、須藤英毅、南昌平、小谷俊明、柳田晴久、種市洋、米澤郁穂、渡邊航太、戸山芳昭、池川志郎
学 開 場 演 演	会 催	名 : 第48回日本側弯症学会（シンポジウム2） 日 : 2014年10月30日 所 : 盛岡 題 : 思春期特発性側弯症のゲノムワイド相関解析：新規の疾患感受性遺伝子の発見 者 : 小倉洋二、河野克己、川上紀明、宇野耕吉、伊東学、南昌平、米澤郁穂、柳田晴久、種市洋、岡田英次朗、高橋洋平、辻太一、鈴木哲平、須藤英毅、小谷俊明、渡邊航太、細金直文、千葉一裕、戸山芳昭、松本守雄、池川志郎
学 開 場 演 演	会 催	名 : 第48回側弯症学会 日 : 2014年10月30日－11月1日 所 : 盛岡 題 : 10歳以下で固定手術を行った先天性側弯症患者における10年以上の長期臨床成績 者 : 小谷俊明、南昌平、赤澤努、佐久間毅、川上紀明、辻太一、宇野耕吉、鈴木哲平

2014年度 学術実績

学 開 場 演 演	会 催	名 : 第48回側弯症学会 日 : 2014年10月30日－11月1日 所 : 盛岡 題 : 側弯症術後ドロップアウト症例の解析 者 : 小谷俊明、赤澤努、佐久間毅、南昌平、加藤木丈英、田中優路、大塚翔子、水野陽子、木村弘美、村上空織、吉沢周子、要玲奈
学 開 場 演 演	会 催	名 : 第48回側弯症学会 日 : 2014年10月30日－11月1日 所 : 盛岡 題 : 思春期特発性側弯症の原因遺伝子—遺伝子診断の現況 者 : 高橋洋平、小倉洋二、渡辺航太、戸山芳昭、松本守雄、黄郁代、池川志郎、高橋弘、河野克己、川上紀明、辻太一、宇野耕吉、鈴木哲平、伊藤学、須藤英毅、南昌平、小谷俊明、柳田晴久、種市洋、米澤郁穂
学 開 場 演 演	会 催	名 : 第48回側弯症学会 日 : 2014年10月30日－11月1日 所 : 盛岡 題 : 思春期特発性側弯症のゲノムワイド相関解析：新規の疾患感受性遺伝子の発見 者 : 小倉洋二、渡辺航太、戸山芳昭、松本守雄、河野克己、川上紀明、辻太一、宇野耕吉、鈴木哲平、伊藤学、須藤英毅、南昌平、小谷俊明
学 開 場 演 演	会 催	名 : 第48回日本側弯症学会学術集会 日 : 2014年10月30日－11月1日 所 : 盛岡 題 : 思春期特発性側弯症に対する手術療法の長期臨床成績 者 : 赤澤努、小谷俊明、佐久間毅、南昌平
学 開 場 演 演	会 催	名 : 第48回日本側弯症学会 日 : 2014年10月30日－11月01日 所 : 盛岡市 盛岡市文化ホール マリオス 題 : 成人脊柱変形に対し低侵襲前方アプローチ(XLIF)を併用した前後合併矯正固定術の短期成績 者 : 佐久間毅、小谷俊明、赤澤努、根本哲治、飯島靖、南昌平
学 開 場 演 演	会 催	名 : 第48回日本側弯症学会 日 : 2014年10月30日－11月01日 所 : 盛岡市 盛岡市文化ホール マリオス 題 : 全脊椎側面X線における頰椎矢状面アライメントの妥当性の評価—SRS推奨肢位と自然立位の比較— 者 : 佐久間毅、小谷俊明、赤澤努、南昌平
学 開 場 演 演	会 催	名 : 第4回関東MIS研究会 日 : 2015年1月10日 所 : 港区 虎ノ門ヒルズ 題 : CBT刺入におけるナビゲーションの有用性とその成績 者 : 佐久間毅、小谷俊明、赤澤努、根本哲治、南昌平
学 開 場 演 演	会 催	名 : 第28回自己血輸血学会 日 : 2015年3月6日 所 : 東京 題 : 側弯症術前自己血貯血が栄養状態に与える影響 者 : 小谷俊明、佐久間毅、東牧子、水野陽子、宮崎木の実、伊藤恵美子、南昌平

## 2014年度 学術実績

学 開 場 演	会 催	名 : 第5回日本成人脊柱変形学会 日 : 2015年3月8日 所 : 千代田区 ステーションコンファレンス東京 題 : 高度な矢状面変形を呈する成人脊柱変形治療の低侵襲化と工夫 -XLIFを併用した前後合併矯正固定術-
演		者 : 佐久間毅、小谷俊明、赤澤努、根本哲治、飯島靖、南昌平
学 開 場 演	会 催	名 : 第55回関東整形災害外科学会雑誌 日 : 2015年3月27日-28日 所 : さいたま 題 : BKPとテリパラチドを用いた骨粗鬆症椎体骨折に対する病診連携 パスの試み
演		者 : 小谷俊明、赤澤努、佐久間毅、根本哲治、飯島靖、木下英幸、 南昌平

### 『講 義』

講 開 場 演	義 催	名 : 千葉大学医学部学生ユニット講義 日 : 2014年10月27日 所 : 千葉大学医学部 題 : 転移性脊椎腫瘍の病態・診断・治療について 者 : 小谷俊明
------------------	--------	---

### 『講 演』

講 開 場 講	演 催 演	名 : 浦安エデンの園 グランドオープン1周年記念セミナー 日 : 2014年6月8日 所 : 浦安市 名 : 骨粗鬆症による脊椎圧迫骨折に対する最新の治療 者 : 小谷俊明
講 開 場 講	演 催 演	名 : 聖隷佐倉脊椎フォーラム 日 : 2014年6月25日 所 : 佐倉 名 : 骨粗鬆症リエゾンサービスの取り組みについて 者 : 小谷俊明
講 開 場 講	演 催 演	名 : Spinal Correction Seminar 日 : 2014年6月27日-28日 所 : 東京 名 : 0-arm Imaging Systemを用いた手術手技の創意工夫 者 : 小谷俊明
講 開 場 講	演 催 演	名 : Funabashi PTH Forum 日 : 2014年7月9日 所 : 船橋市 名 : 脊椎圧迫骨折に対するBKPとテリボンを用いた病診連携パス 者 : 小谷俊明
講 開 場 講	演 催 演	名 : 第11回名古屋脊椎脊髄セミナー 日 : 2014年7月11日-12日 所 : 名古屋市 名 : 私の脊椎臨床研究テーマの見つけ方 者 : 小谷俊明

2014年度 学術実績

講 開 場 講	演 催 演	会 名 日 所 名 者	: 第11回房総脊椎脊髄手術手技研究会 : 2014年7月12日 : 千葉県鴨川 : 思春期特発性側弯症の全脊柱アライメント : 赤澤努
講 開 場 講	演 催 演	会 名 日 所 名 者	: 第23回ちば脊椎カンファレンス ワークショップ : 2014年7月12日 : 千葉市 アパホテル&リゾート 東京ベイ幕張 : XLIFの可能性 -変形矯正と亜全摘の実際- : 佐久間毅
講 開 場 講	演 催 演	会 名 日 所 名 者	: 第23回ちば脊椎カンファレンス : 2014年7月12日 : 千葉市 アパホテル&リゾート 東京ベイ幕張 : 側弯症の保存治療と自然経過について -思春期特発性側弯症を 中心に- : 佐久間毅
講 開 場 講	演 催 演	会 名 日 所 名 者	: 木更津骨粗鬆症講演会 : 2014年9月4日 : 木更津市 : 脊椎圧迫骨折に対するBKPとテリボンを用いた病診連携パス : 小谷俊明
講 開 場 講	演 催 演	会 名 日 所 名 者	: 平成26年度千葉県医師会学校医講習会 : 2014年9月18日 : 千葉 : 脊柱側弯症学校検診について : 南 昌平
講 開 場 講	演 催 演	会 名 日 所 名 者	: 第二回 上田・小県・小諸エリア 椎体骨折フォーラム : 2014年9月20日 : 長野県上田市 : 骨粗鬆症性椎体骨折の治療戦略と地域医療連携 -2次骨折の予防 と骨粗鬆症リエゾン : 小谷俊明
講 開 場 講	演 催 演	会 名 日 所 名 者	: 第68回国民体育大会千葉県選手団結団式 : 2014年10月3日 : 千葉 : 国体におけるドーピング検査 : 南 昌平
講 開 場 講	演 催 演	会 名 日 所 名 者	: XLIF Seminar 2014 : 2014年11月8日 : 港区 泉ガーデンコンファレンスセンター : 高度な矢状面インバランスを呈する成人脊柱変形に対しXLIFを用 いた前後合併矯正固定術の短期成績 -XLIFの矢状面アライメン トの矯正力についての検討- : 佐久間毅
講 開 場 講	演 催 演	会 名 日 所 名 者	: 新潟県臨床整形外科医会 : 2014年11月8日 : 新潟市 : 骨粗鬆症性椎体骨折に対するBKPとテリボンを用いた病診連携 : 小谷俊明

2014年度 学術実績

講 開 場 講	演 催 演	会 名 日 所 名 者	: 骨粗鬆症を地域で連携する会 : 2014年11月20日 : 福島市 : 骨粗鬆症性椎体骨折に対するBKPとテリボンを用いた病診連携パス : 小谷俊明
講 開 場 講	演 催 演	会 名 日 所 名 者	: 東信地域大腿骨頸部骨折連携協議会 : 2014年12月12日 : 長野県上田市 : 骨粗鬆症性椎体骨折の治療戦略と地域医療連携ー2次骨折の予防と骨粗鬆症リエゾンサービス : 小谷俊明
講 開 場 講	演 催 演	会 名 日 所 名 者	: 市民公開講座 : 2015年1月31日 : 佐倉市 ウイッシュトンホテル : 腰曲がりと腰痛ーその原因と治療法ー : 佐久間毅
講 開 場 講	演 催 演	会 名 日 所 名 者	: 骨粗鬆症フロンティアin旭川 : 2015年2月6日 : 旭川市 : 骨粗鬆症性椎体骨折に対するBKPとテリボンを用いた病診連携 : 小谷俊明
講 開 場 講	演 催 演	会 名 日 所 名 者	: 第21回Clinical Imaging研究会 : 2015年2月13日 : 千葉市 : 整形外科における最新のナビゲーション手術 : 小谷俊明
講 開 場 講	演 催 演	会 名 日 所 名 者	: 第24回ちば脊椎カンファレンス : 2015年2月14日 : 千葉市 アパホテル&リゾート 東京ベイ幕張 : 成人脊柱変形手術ーXLIFを併用した前後合併手術の立場からー : 佐久間毅
講 開 場 講	演 催 演	会 名 日 所 名 者	: 第2回盛岡地区テリパラチドセミナー : 2015年3月13日 : 盛岡市 : 骨粗鬆症性椎体骨折に対するBKPとテリパラチドを用いた病診連携 : 小谷俊明
講 開 場 講	演 催 演	会 名 日 所 名 者	: 市民公開講座 : 2015年3月21日 : 千葉市 カンデオホテル : おとなのそくわん症 : 佐久間毅

## 『論文』

- 雑題 誌 名 : Asian Spine Journal  
 題 名 : Accuracy of pedicle screw placement in scoliosis surgery:  
 a comparison between conventional computed tomography-  
 based and O-arm-based navigation techniques.  
 著者 : 2014 8(3):331-8.  
 巻、ページ、年度 : Kotani T, Akazawa T, Sakuma T, Koyama K, Nemoto T, Nawata K,  
 Yamazaki A, Minami S.
- 雑題 誌 名 : J Med Genet.  
 題 名 : A meta-analysis identifies adolescent idiopathic scoliosis  
 association with LMX1B locus in multiple ethnic groups.  
 著者 : 2014 Jun;51(6):401-6.  
 巻、ページ、年度 : Londono D1, Kou I, Johnson TA, Sharma S, Ogura Y, Tsunoda T,  
 Takahashi A, Matsumoto M, Herring JA, Lam TP, Wang X,  
 Tam EM, Song YQ, Fan YH, Chan D, Cheah KS, Qiu X, Jiang H,  
 Huang D; Japanese Scoliosis Clinical Research Group,  
 TSRHC IS Clinical Group, the International Consortium for  
 Scoliosis Genetics, Su P, Sham P, Cheung KM, Luk KD,  
 Gordon D, Qiu Y, Cheng J, Tang N, Ikegawa S, Wise CA.
- 雑題 誌 名 : Nat Commun.  
 題 名 : A PAX1 enhancer locus is associated with susceptibility to  
 idiopathic scoliosis in females.  
 著者 : 2015 Mar 18;6:6452. doi: 10.1038/ncomms7452.  
 巻、ページ、年度 : Sharma S, Londono D, Eckalbar WL, Gao X, Zhang D, Mauldin K,  
 Kou I, Takahashi A, Matsumoto M, Kamiya N, Murphy KK,  
 Cornelia R; TSRHC Scoliosis Clinical Group; Japan Scoliosis  
 Clinical Research Group, Herring JA, Burns D, Ahituv N,  
 Ikegawa S, Gordon D, Wise CA.
- 雑題 誌 名 : 関節外科  
 題 名 : 整形外科でのITの活用 臨床編 三次元画像解析システム  
 SYNAPSE VINCENTを用いた脊椎手術支援  
 著者 : 小谷 俊明, 赤澤 努, 佐久間 毅, 南 昌平  
 巻、ページ、年度 : 33巻12号 Page1346-1349(2014. 12)
- 雑題 誌 名 : 側弯症治療の最前線 手術編  
 題 名 : I章歴史 後方固定の歴史、IV章各種疾患に対する手術戦略 7  
 脊髄係留と脊髄空洞症を伴う側弯症  
 著者 : 南 昌平  
 巻、ページ、年度 : 著書 18-30, 291-298 2014. 6
- 雑題 誌 名 : 第86回日本整形外科学会学術総会記念誌  
 題 名 : わが国における側症の歴史  
 著者 : 南 昌平  
 巻、ページ、年度 : 著書 75-98 2014. 5
- 雑題 誌 名 : 東京都予防医学協会年報2015年版  
 ( (公財) 東京都予防医学協会編. 東京)  
 題 名 : 脊柱側弯症検診: 脊柱側弯症検診の実施成績、脊柱側弯症学校検  
 診について  
 著者 : 南 昌平  
 巻、ページ、年度 : 著書 36-42, 2015. 3

## 2014年度 学術実績

- 雑誌名 : BMC Musculoskeletal Disord  
題名 : Postoperative shoulder imbalance in Lenke Type 1A adolescent idiopathic scoliosis and related factors.  
著者 : Matsumoto M, Watanabe K, Kawakami N, Tsuji T, Uno K, Suzuki T, Ito M, Yanagida H, Minami S, Akazawa T  
巻、ページ、年度 : 15: 366, 2014
- 雑誌名 : J Spinal Disord Tech  
題名 : Risk factors for proximal junctional kyphosis associated with dual-rod growing-rod surgery for early-onset scoliosis.  
著者 : Watanabe K, Uno K, Suzuki T, Kawakami N, Tsuji T, Yanagida H, Ito M, Hirano T, Yamazaki K, Minami S, Taneichi H, Imagama S, Takesita K, Yamamoto T, Matsumoto, M  
巻、ページ、年度 : 2014 Jul 11
- 雑誌名 : Journal of Spine Research  
題名 : O-arm Based Navigation下に刺入したCortical Bone Trajectory法の刺入位置及び角度の検討  
著者 : 佐久間毅、小谷俊明、赤澤努、根本哲治、南昌平  
巻、ページ、年度 : J. Spine Res. 5: 1407-1410. 2014
- 雑誌名 : Journal of Spine Research  
題名 : Simultaneous Double Rod Rotation Techniqueによる矢状面アライメントの変化の検討 - Rod Rotationで後弯の頂椎の位置は変化するか? -  
著者 : 佐久間毅、小谷俊明、赤澤努、南昌平  
巻、ページ、年度 : J. Spine Res. 5: 1533-1536. 2014

## 『その他』

- その他 : 日経メディカル座談会  
日付 : 2015年1月6日  
場所 : 聖隷佐倉市民病院  
題名 : 脆弱性骨折患者に対するテリパラチド週1回投与製剤を用いた地域連携パスによる再骨折予防の取り組み  
氏名 : 小谷俊明、秋山宏美、宮崎木の実、白井智裕、三上浩史

## 【放射線科】

### 『論文』

- 雑誌名 : 臨床放射線 (金原出版)  
題名 : 外国文献紹介 : 小児の限局性低悪性度脳幹部腫瘍の治療と転帰についてーセント・ジュード病院の症例よりー
- 著者 : 瀬戸一彦  
巻、ページ、年度 : Vol. 59、p. 164、2014
- 雑誌名 : 臨床放射線  
題名 : 外国文献紹介 : 胸部CTと組み合わせたPET画像を用いた早期非小細胞肺癌に対する定位放射線療法後の局所再発検出能の向上について
- 著者 : 瀬戸一彦  
巻、ページ、年度 : Vol. 59、p. 278、2014
- 雑誌名 : 臨床放射線  
題名 : 外国文献紹介 : 高磁場7テスラMRI装置を用いた従来は検出できなかった結節性硬化症の脳内病変の描出について
- 著者 : 瀬戸一彦  
巻、ページ、年度 : Vol. 59、p. 384、2014
- 雑誌名 : 臨床放射線  
題名 : 外国文献紹介 : 小児の頭蓋底病変に対する内視鏡下経鼻的手術について
- 著者 : 瀬戸一彦  
巻、ページ、年度 : Vol. 59、p. 539、2014
- 雑誌名 : 臨床放射線  
題名 : 外国文献紹介 : 外傷性大動脈損傷において非手術的治療を適切に行うための指標について
- 著者 : 瀬戸一彦  
巻、ページ、年度 : Vol. 59、p. 656、2014
- 雑誌名 : 臨床放射線  
題名 : 外国文献紹介 : 下行大動脈のステントグラフト内挿術後に上行大動脈に生じた逆行性解離に対する修復手術について
- 著者 : 瀬戸一彦  
巻、ページ、年度 : Vol. 59、p. 908、2014
- 雑誌名 : 臨床放射線  
題名 : 外国文献紹介 : 脊柱後彎症を合併した多椎間に及ぶ変形性頸髄症に対する拡大椎弓切除術および外側塊スクリー固定術について
- 著者 : 瀬戸一彦  
巻、ページ、年度 : Vol. 59、p. 1101、2014
- 雑誌名 : 臨床放射線  
題名 : 外国文献紹介 : 多臓器移植後に仮性動脈瘤を生じた患者における外科手術と血管内治療を組み合わせた治療法について
- 著者 : 瀬戸一彦  
巻、ページ、年度 : Vol. 59、p. 1166、2014

- 雑誌名 : 臨床放射線  
題名 : 外国文献紹介 : 腰椎椎間板と椎体の加齢変化および両者の相互作用についてー15年間の経過観察よりー  
著者 : 瀬戸一彦  
巻、ページ、年度 : Vol. 59、p. 1291、2014
- 雑誌名 : 臨床放射線  
題名 : 外国文献紹介 : コマレル憩室のハイブリッド手術について  
著者 : 瀬戸一彦  
巻、ページ、年度 : Vol. 59、p. 1692、2014
- 雑誌名 : 臨床放射線  
題名 : 外国文献紹介 : フッ素F-18標識化合物を用いたPET検査による破裂後あるいは破裂する危険性の高い動脈硬化性プラークの見極めについてー前向き調査よりー  
著者 : 瀬戸一彦  
巻、ページ、年度 : Vol. 59、p. 1860、2014

## 【病理科】

### 『学会』

- 学会名 : 2014国際病理アカデミー IAP 2014  
開催日 : 2014年10月8日  
会場所 : Bangkok, Thailand  
演題 : Ideo-real gap of modern medicine viewed from the autopsy  
演者 : Makio Kawakami

### 『講義』 ※2014年1月～12月にて表記

- 講義名 : CPC聖隷横浜病院  
開催日 : 2014年1月21日  
会場所 : 聖隷横浜病院会議室  
演題 : 腎透析中に意識障害を来したsudden deathの一例  
演者 : 河上牧夫
- 講義名 : CPC聖隷横浜病院  
開催日 : 2014年2月18日  
会場所 : 聖隷横浜病院会議室  
演題 : MRSA肺炎中に発来したStevens-Johnson症候群の一例  
演者 : 河上牧夫
- 講義名 : 至誠会看護学校特別講義  
開催日 : 2014年2月21日  
会場所 : 至誠会看護学校  
演題 : 生命の形態とその生死の病理学  
演者 : 河上牧夫

## 2014年度 学術実績

講 義 名 : CPC聖隷横浜病院  
開 催 日 : 2014年3月19日  
場 所 : 聖隷横浜病院 会議室  
演 題 : 腸管虚血NOMI, 麻痺性イレウスを来したGuillainBarre症候群  
演 者 : 河上牧夫

講 義 名 : CPC聖隷佐倉市民病院  
開 催 日 : 2014年12月22日  
場 所 : 聖隷佐倉市民病院  
演 題 : 肝嚢胞多形細胞癌により不幸な転帰をとった一症例  
演 者 : 河上牧夫

### 『講 演』

講 演 会 名 : 日本病理協会講演会  
開 催 日 : 2015年1月11日  
場 所 : 日本医大桐蔭会館/東京  
講 演 名 : 腎臓の基本構造と間質病理  
講 演 者 : 河上牧夫

### 『その他』

そ の 他 : CPC/講演  
日 付 : 2014年10月17日  
場 所 : 神奈川県病院  
題 名 : 間質性肺炎  
氏 名 : 河上牧夫

そ の 他 : 小児肝臓病研究会 連続講義 (2014年内2回/全7回)  
日 付 : 第1回: 10月23日, 第2回: 11月27日  
場 所 : 済生会横浜市東部病院  
題 名 : 第1回: 生命の基本形態, 第2回: 肝の成り立ちとそま基本形態  
氏 名 : 河上牧夫

そ の 他 : 第20回 肝血流動態イメージ研究会  
日 付 : 2015年2月14日  
場 所 : 大阪国際forum  
題 名 : commentator  
氏 名 : 河上牧夫